

宅 地 概 要 (第一次スクリーニング結果)											
盛土番号	御杖-1-1	宅地名	管野	造成(許可)年代	H5~H13						
所在地住所	御杖村管野										
盛土形式	■ 人工造成地		(■ 谷埋型)		□ 腹付(型)		□ 自然斜面				
盛土形状	盛土面積A	10964	m ²	盛土幅W	176	m	盛土距離L	128	m	天端幅(腹付型)L	m
	盛土高さH	17	m	盛土厚さD		m	元地盤勾配α	8	°		

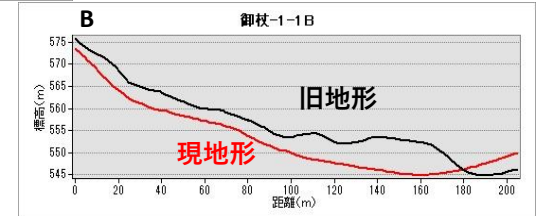
優先度評価項目		判定	記事
①	盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	☐ 非該当 ☒ 該当	
②	宅地地盤・擁壁・のり面の変状	☐ 有 ☒ 無	
③	地下水	☐ 有 ☒ 無 ☐ 可能性有	
④	盛土の下不安定な土層	☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明	
⑤	造成年代（基準年以前／以後）	☐ 以前 ☒ 以後	
⑥	変動確率	☒ 大 ☐ 小	

B4

【地盤定数】					【安定計算結果】		
	代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)		
盛土						常時	地震時
地山							

1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

Figure 1 is a cross-sectional diagram of the study area, titled '御杖-1-A'. The vertical axis represents elevation in meters (m), ranging from 540 to 560. The horizontal axis represents distance in meters (m), ranging from 0 to 190. The diagram shows two terrain profiles: a black line representing the '旧地形' (Old Terrain) and a red line representing the '現地形' (Current Terrain). The '旧地形' profile shows a series of peaks and valleys, with the highest peak reaching approximately 562m at a distance of about 180m. The '現地形' profile is generally lower than the '旧地形' profile, showing a more gradual slope with a slight dip around 140m. The area between the two profiles is shaded gray.



【総評】

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

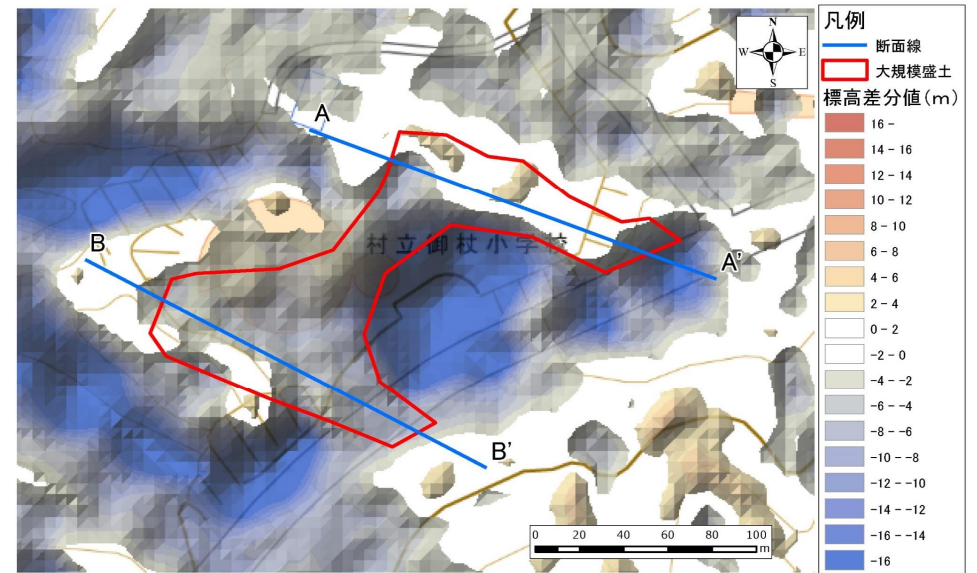
様式2

盛土番号	御杖-1-1	宅地名	管野	造成年代	H5～H13		盛土形状	盛土面積A	10964	m2	盛土幅W	176	m	盛土距離d	128	m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	御杖村管野							盛土高さH	17	m	盛土厚さD		m	原地盤勾配α	8	°		
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面						特記事項 (											

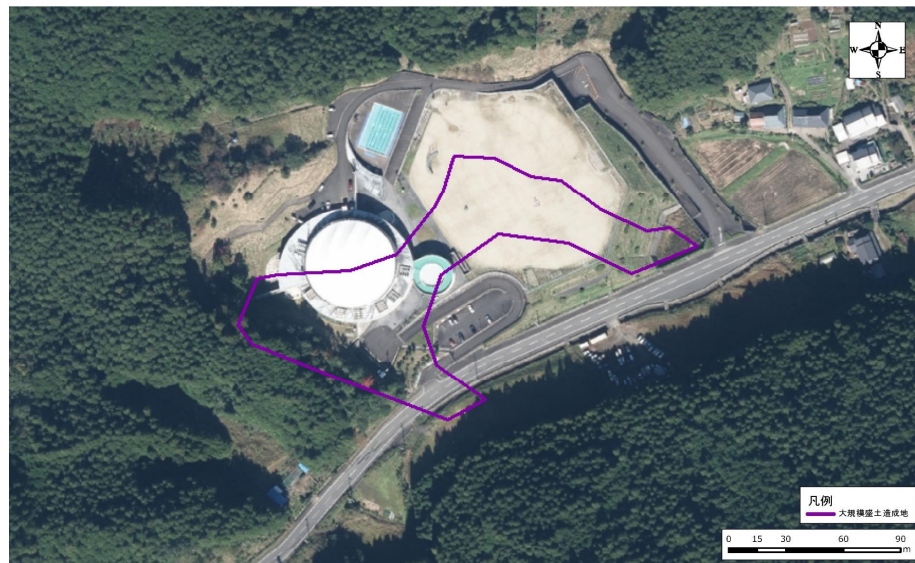
【背景（昭和49年～昭和53年度航空写真）】



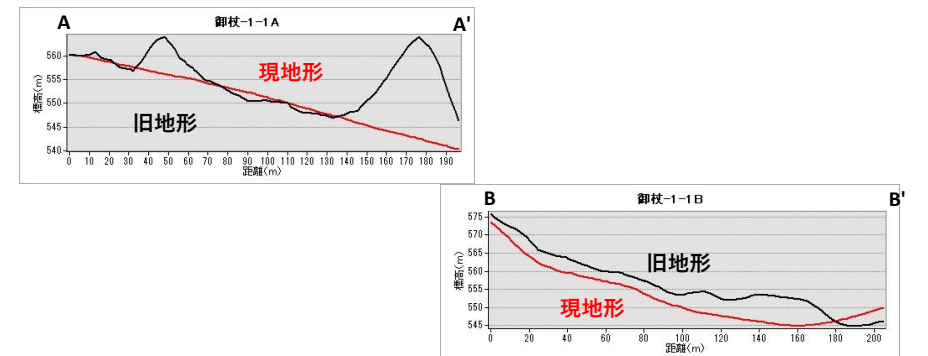
【差分図（背景現地形図）】



【空中写真】



【模式断面図】



宅地カルテ（第二次スクリーニング計画の作成（1））

様式3

基礎資料整理			現地踏査													
チェック項目		判定	記事		調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前			
保全対象	・住宅	☐ 有 ☒ 無	() 軒 ()		2022年10月5日 13:00		降水量 (mm)	8.5	0	0	0	0	0			
	・住宅公共施設等	☒ 有 ☐ 無	■ 避難所 (御杖小学校)		・宅地内の平面図との相違		☐ 有 ☒ 無 ()									
			■ 緊急輸送路 (国道369号)		・盛土形状の机上調査との相違		☐ 有 ☒ 無 ()									
			☐ 河川 ()		・盛土末端部の状況		— ☒ のり面 ■ 擁壁 ☐ すりつき ()									
各種指定等			☐ 鉄道 ()		土質		☐ 有 ☒ 無 ☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土 ☐ 岩盤									
	・その他特記事項	—			盛土材料の確認		☐ 有 ☒ 無 ☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土 ()									
					既往調査の資料		☐ 有 ☒ 無 ()									
					・その他特記事項		— ()									
その他	優先度評価項目		判定 (記事)													
	①	・盛土のり面勾配		☐ 急 ☒ 適 勾配 (1: 1.8) ()												
	の形状と構造	・小段の設置		☐ 不適 ☒ 適 高さ (5) m 段数 (2) 段 ()												
		・のり面保護工の設置		☐ 不適 ☒ 適 (植生工)												
・ひな壇部分の傾斜		☐ 急 ☐ 適 傾斜角 () ° (ひな壇無し)														
の形状と構造	・擁壁構造の適格性		☐ 不適 ☒ 適 ☐ 鉄筋コンクリート構造 ■ 無筋コンクリート造 ☐ 練積造 ☐ その他 ()													
			高さ (3) m 壁面勾配 (1: 0.4)													
	・その他特記事項		— ()													
	②		宅地地盤・亀裂、沈下、隆起		☐ 有 ☒ 無 (敷地の沈下は局所的。)											
の形状と構造	・宅の地り	擁壁とその基礎の変状		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・擁壁背面の変状		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・擁壁の補修履歴		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・ガリ侵食跡		☐ 有 ☒ 無 ()												
の形状と構造	盛土のり面	・表面の不陸又は凹凸		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・亀裂		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・排水溝の変状		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・災害痕跡		☐ 有 ☒ 無 ()												
の形状と構造	その他	・根曲り		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・道路の変状		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・その他特記事項		— ()												
		③		・盛土のり面からの湧水		☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無 ()										
の形状と構造	地下水	・擁壁水抜き穴からの恒常的な出水		☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・ひな壇部分の擁壁前面部の出水		☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・排水工や擁壁の恒常的な湿り		☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・盛土のり尻排水工の水没		☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
の形状と構造	地下水	・排水工の目地・亀裂からの地下浸水		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・盛土のり尻のため池等の満水位		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・既存井戸水位		☐ 有 ☒ 無 ()												
		・盛土のり尻の調整池・ため池		■ 可能性有 ☐ 無 (東側盛土のり面末端に調整池有り)												
の形状と構造	地下水	・集水地形上の盛土		☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・盛土上ガレージの湿り		☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・水を好む植生の有無		☐ 可能性有 ☒ 無 ()												
		・その他特記事項		— ()												
の形状と構造	盛土状態	④		・盛土周辺の崖錐、崩積土		☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明										
		・盛土周辺の沖積粘性土		☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明												
		・盛土周辺の沖積飽和砂質土		☐ 有 ☐ 無 ☒ 不明												
		・その他特記事項		— ()												
の形状と構造	【総評】	標準的な形状・構造の谷埋め型盛土である。盛土末端部はのり面構造を主体とし、法面には植生工が施されて概ね安定している。法尻には一部コンクリート擁壁が設置され、変状はなく健全である。東側の盛土のり面末端部には調整池が存在する。盛土内には「御杖小学校」の校舎の一部とグラウンドの一部が位置しており、敷地内は概ね平坦地となっている。校舎周辺部では舗石タイルの沈下が見られるが、変状は局所的であり、盛土全体が不安定化する兆候は見られない。また、敷地内の道路面にはクラックが発生するが、舗装の老朽化に伴うものと考えられる。造成年代は基準年以降である。以上より、当該箇所の優先度は「B4」と評価した。想定被害形態は、盛土末端部がのり面構造を主体としていることから「盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊」が想定される。												被害形態		
														盛土のり面の不安定化によるすべり崩壊		
														優先度		
														B4		

【平面図】



写真1 南側境界付近の状況



写真2 中央部境界付近の状況



写真3 南側境界付近の状況



写真4 南側境界付近の状況



写真5 南西側境界付近の状況



写真6 南西側境界付近の状況



写真7 西側境界付近の状況



写真8 西側境界付近の状況



写真9 中央部境界付近の状況



写真10 舗石タイルの沈下



写真11 北側境界付近の状況



写真12 北側境界付近の状況



写真13 北側境界付近の状況



写真14 東側法肩の状況



写真15 東側法肩の状況



写真16 調整池の状況



写真17 東側境界付近の状況



写真18 東側境界付近の状況



写真19 中央部境界付近の状況



写真20 中央部境界付近の状況



写真21 路面のクラック



写真22 中央部境界付近の状況

